

さがっば村 もの作り応援隊

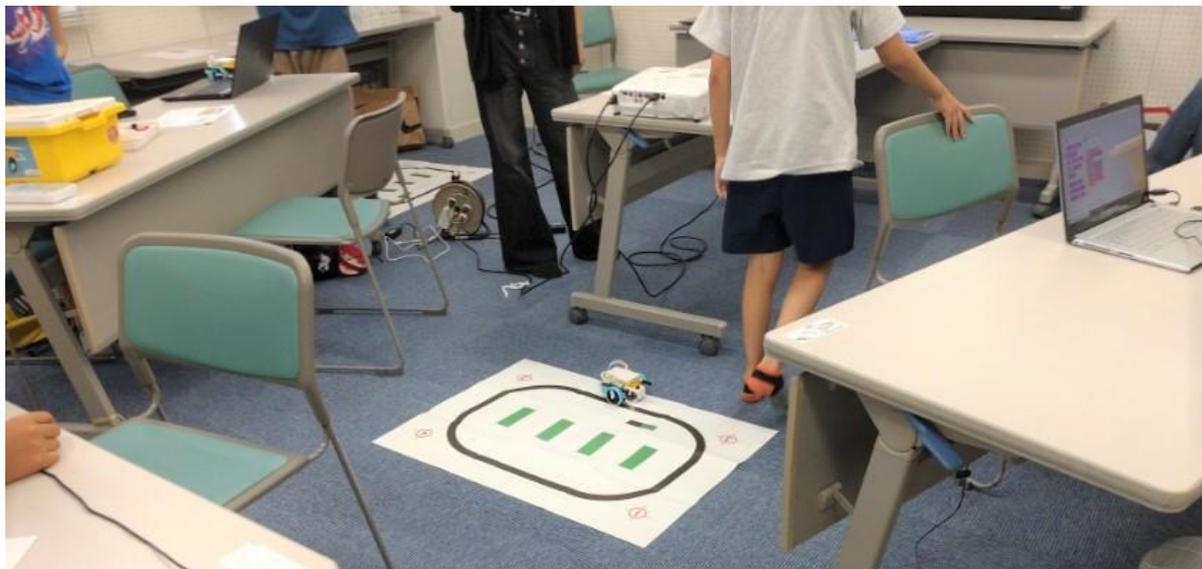
「ロボットプログラミング教室」を見学してきました。

2024年8月8日（木）に、佐方市民センターで小学校高学年以上を対象とした「ロボットプログラミング教室」を見学してきました。レゴ社の spike を使用してセンサーやモーターを組み合わせたロボットをプログラミングして動かす活動です。今回は8名を3グループに分け、課題に沿ったロボットを組み立てます。その後それぞれがプログラミングを相談しながら考えて、トライアンドエラーを繰り返しながら理想の動きを探していきます。もの作りを通して創造力、課題解決力を学ぶプログラムとなっていました。



教室は、まず最初に、神垣先生のわかりやすく親しみのある話から始まり、講師の大学生2人がパートを分けて、子供たちに実践ベースでレクチャーをしていく進め方で、子供たちは楽しく積極的に取り組んでいました。

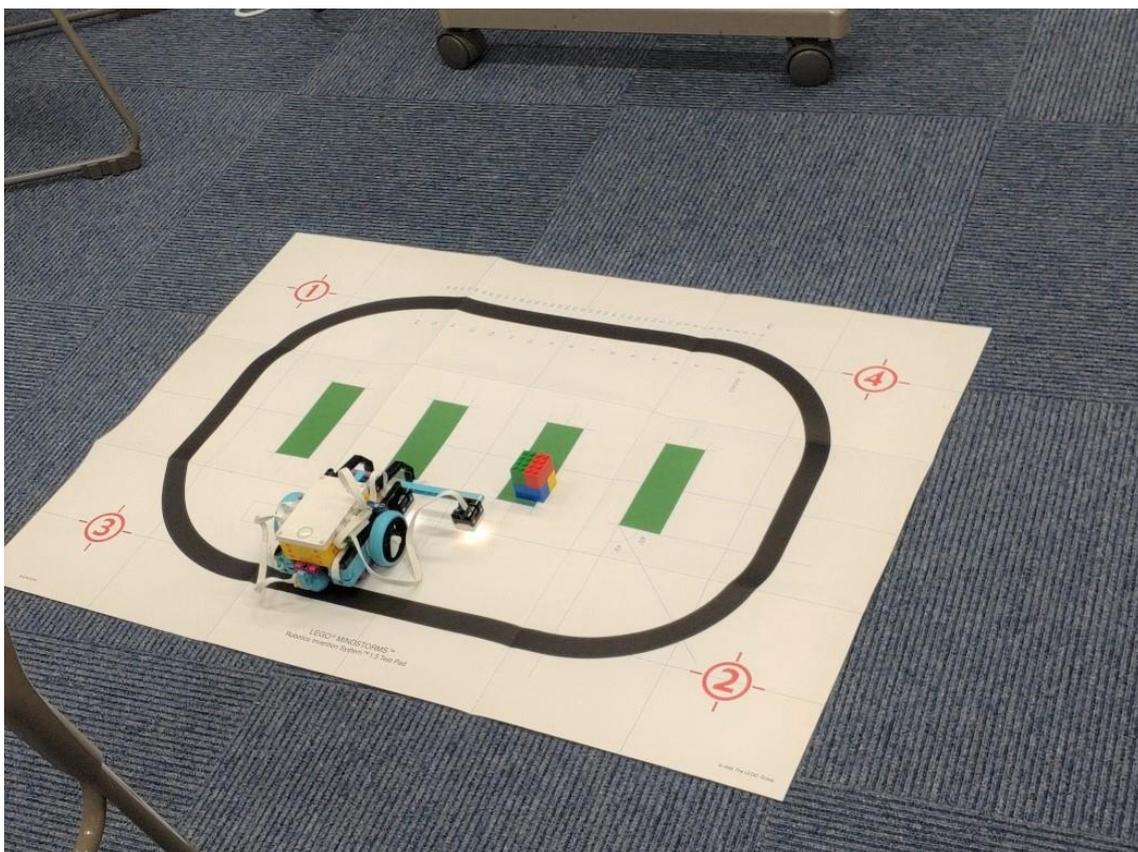
本日の課題は、ライントレース、荷物運び、無限運搬の3つが用意されており、最初のライントレースは比較的簡単な内容で、3チームがいかに早く走行させるかを工夫して競い合い、わずか0.09秒差の白熱の戦いとなりました。



そのロボットを製作する工程では、チーム内で役割を分担して製作を行うように加芝所長が指導されており、チームとしての活動を学びつつ、全員が成功体験を得られるように指導をされていました。



また、2つ目の課題の荷物運びでは、実際の動きを見ながらフロー図を整理するなど、プログラミングを行う上で大切なプロセスを自然に体験できる工夫をされていました。課題の難易度はかなり高いと思いましたが、子供たちは臆することなく、プログラミングと試走を繰り返し、自分なりの工夫を織り込みながら、課題を解決していく様に、将来に向けて大きな期待を抱きました。



こちらのロボットプログラミングは、WRO という競技会があり、中国大会、全国大会、世界大会まであります。2023年度は日本から5チームが8位入賞と、素晴らしい成績を取れているとのこと。是非、広島からも出場果たし、世界を変えるようなエンジニアが育って欲しいものです。

最後に、この子供たちの指導は、広島工業大学の大学生がメインで行われており、子供たちが分かりやすい言葉を使って、名前を呼びながら指導する様に、強い感銘を受けました。彼らが社会に出て大いに活躍されることを期待しております。 (大塚)